



社協の事業は、皆様の「会費・寄付金」などによって支えられております。

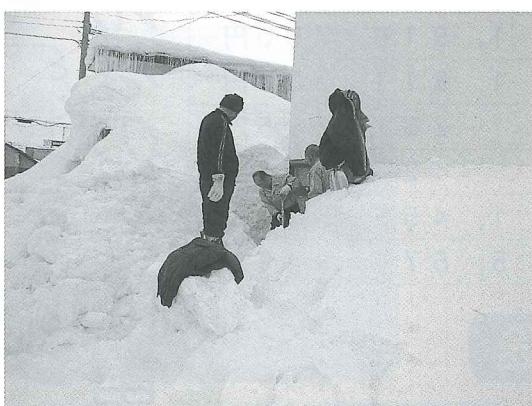


# 社協だより

平成25年 3月 15日発行

社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)  
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>

## 広がる支えあいの輪



## 地域の暮らしを支える 除雪ボランティア

冬期間の降雪で、日常生活に支障を来たし、自らで雪落としや除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯等で、経済的理由で他に支援を求めることができない世帯に対して、市内建設業等企業に「除雪ボランティア企業」の登録をいただいております。今年も、登録企業が市内でひとり暮らしの高齢者や、障がい者をもつた方の住宅の雪落としや、家の周りに溜まった雪を人の手や重機を使って除雪が行われました。

「登録企業：協友建設さん・久保重機工業さん・三共建設さん・しづお建設さん・NIPPON士別出張所さん・久光組さん・西尾運送さん・花輪組さん・ミズタエンジニアリングさん」

思いやりの心が地域を支えています



この広報誌は「赤い羽根共同募金」の助成金でつくられています。

# ご協力ありがとうございました!!

## 共同募金・歳末たすけあい募金

平成24年度土別市共同募金委員会に、下記のようにたくさんの善意が寄せられました。  
市民の皆様の温かいご協力と募金ボランティアの方々のご尽力に心から感謝申し上げます。

平成24年度「赤い羽根」共同募金は  
**5,571,949円**  
が寄せられました。



### 共同募金・歳末たすけあい募金内訳

	平成24年度目標額	平成24年度実績額
戸別募金	1,956,000円	1,916,750円
事業所募金	1,900,000円	1,811,200円
街頭・職域募金	300,000円	261,215円
学校募金	180,000円	127,405円
歳末たすけあい募金	1,400,000円	1,455,379円
合計	5,736,000円	5,571,949円

### 共同募金の使い途

土別市の福祉活動に………

士別市社会福祉協議会の  
活動推進のために

**3,119,570円**

- 学童生徒ボランティア活動推進事業
- 社協だよりの発行事業
- 中学生・高校生ワークキャンプ事業
- 小地域ネットワーク推進事業
- 士別市福祉教育懇談会
- 老人安全杖無料配布事業
- ふれあい広場開催事業
- 福祉の店「シユペツ」運営助成事業
- 在宅福祉支援事業
- 地域交流事業
- 支部社協活動推進事業
- 募金運動関係経費

歳末たすけあいのために

**1,455,379円**

低所得世帯、長期ねたきり老人、福  
祉施設入所児童、在宅重度障がい者  
障がい児

道内各地の福祉向上に………

道内各地の福祉活動  
推進のために

**997,000円**

道内各地の小規模施設の運営や在宅  
福祉活動の推進、ボランティア活動  
振興のために使われます。

いま、みんなの温かい思いやりをのせて



愛にはじまり  
希望につなぐ  
赤い羽根!!

## ボランティアセンター『開示』

「さぼてん」バルーンアートで子どもたちと交流

2月9日（土）ほくと児童館において土曜ボランティア学習塾「さぼてん」のメンバーが、バルーンアートで市内児童館の子どもたちと交流会を実施した。



この行事は「士別バルーンアート研究会」の協力のもと、毎年恒例となっており、「さぼてん」のメンバーはもちろん子どもたちもこの日を楽しみにしていました。

交流会では初めに「さぼてん」メンバーと子どもたち全員が自己紹介を行い、次にお待ちかねのバルーンアートの製作に入った。

「さぼてん」のメンバーが子どもたちの前で作り方を教えていくのだが、自分が作るのは簡単でも子どもに教えるのは難しいもの。しかし、心配をよそにひとつひとつ丁寧に教え、子どもたちもお姉さんの言葉をよく聞き、手の動きもよく見ながら器用に作っていた。

それでも難しいところでは、「さぼてん」のメンバーが子どもたちの中に入り、手を添えながら判りやすく教えていた。

作品が完成すると友達や先生に「うさぎができるよ！」と笑顔で見せ合ったり、自分で作った剣で遊んだりと時間がいくらあっても足りない様子だった。

最後にはハートと犬の合体作品にも挑戦し、子どもたちはみんな大満足の笑顔で交流会を終了した。もちろん「さぼてん」メンバーも達成感と満足感で溢れていた。

H  
M



## 「上川管内社会福祉協議会職員連絡協議会学習会」

平成25年2月9日（土）午後1時30分より、サポートセンターしべつ大會議室において「日常自立支援事業に関する学習会」が開催されました。

この学習会は、日常生活自立支援事業の実施体制が平成26年4月より、なっており、そのため支援対象者と最初の接点となりうる現場職員等に対して、制度のあり方等の説明がされました。

講師に、北海道社会福祉協議会派遣の旭川大学白戸一秀教授、権利擁護課中村祐子課長から制度内容や利用手続きなどについて説明があり、参加者である士別市介護保険課・地域包括支援センター職員、上川管内社会福祉協議会職員、士別市社会福祉協議会職員総勢32名はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。





皆様の温かい心 ありがとうございます。  
さまざまな福祉の充実に幅広く活用しています。

平成25年1月1日～平成25年2月28日